

会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第3回会議
開催日時	令和元年7月29日(月) 13:30~15:50
開催場所	役場2階 議場
出席者	別紙のとおり
議 題	1 複合庁舎に求められる機能について 保健センター機能、中央公民館機能、コミュニティ機能
配布資料	資料1 保健センター、中央公民館の紹介 資料2 第2回ワークショップの振り返り 資料3 第3回ワークショップ
会議録の作成方針	要点記録

審議内容	複合庁舎に求められる機能について テーマ：保健センター機能、中央公民館機能、コミュニティ機能
■新庁舎にホールは作らないのか。	
→ 文化団体や会議のほとんどは、愛ホールに移行することはできると思われるが、大ホールの利用が過密になることが想定される。また、葬儀会場、投票所については別な会場を検討する必要があるため、継続して検討していきたい。	
■公民館の利用状況は	
→ 今手元にはないが生涯学習課で整理したものがあり、その数字を根拠に文化団体が愛ホールに拠点を移すことができると判断している。	
■ホールを作らない場合、葬儀会場はどうするのか。葬儀の実績は。	
→ 昨年度は利用が多く10件だが、それ以前は年間平均6件程度であることから、愛ホール、住民センター、地域の公民館などで対応できないか検討したい。	
※ 親族の宿泊は2階の和室とござを敷いて会議室を利用（中央公民館）	
■保健センターの面積はどれくらい必要か。	
→ 保健福祉課からの聞き取りでは、現在の面積と同等の施設が求められている。狭くて使いづらい部屋もあるが、配置などを工夫することで対応できる。	
■全体の面積の上限はあるのか。	
→ 基本構想に記載の面積は、現庁舎と公民館を足した面積を基準としているが、それ以外にも保健センターとコミュニティ施設が加わることや、ホールの整備も未定であるため、現時点では計算ができていない。	
■町で考えている面積や事業費を示して欲しい。	
→ 本日のワークショップで庁舎に含める機能の検討がひととおり終わることになるので、これを基に整理して、大まかな数字を次回には示すようにしたい。	
■どの災害を重点的に考えているのか。	
→ 庁舎建設の計画には、国や道から示されている地震や河川氾濫、土砂崩れなど幅広く考えている。冬期間の停電への対応が大事だと考える。	
■避難場所としてはどれぐらいの人数を収容することを考えているのか。	
→ 役場は防災拠点、愛ホールが避難所と位置付けている。役場としては短期的な一時避難所として考えているため、既存の会議室などを利用することと考えており、収容人数を考慮して面積は決めてはいない。	

■自家発電機の設置を考えて欲しい。

→ 72時間は防災拠点として稼働できる発電機の設置を考えている。

■建設位置を決めた説明資料が欲しい。

→ 基本構想にも説明が記載されているが、費用抑制を考え、新たに土地を求めることなく既存の町有地で検討した結果、他に適地はなく、面積、アクセス、利便性から、この場所周辺を最適地とした。

【意見】

- ・災害発生時に、役場に行けば何とかかなると思える施設にして欲しい。
- ・大きな会議室ではなく、パーティションで区切れると活用の幅が広がる。
- ・ホールに防音、ステージはあるといいが音響設備はいらない。
- ・愛ホールと同じ施設はいらない。